平成30年度水力発電導入促進のための事業費補助金(水力発電事業性評価等支援事業)①水力発電事業性評価事業 実施概要 大塩川発電所事業性評価調査事業

1. 事業の目的

本業務は、福島県耶麻郡北塩原村大塩川地点について、測量、地質調査、主要構造物等の基本設計を実施し、事業性を評価することを目的とする。

2. 事業の内容

- (1) 事業者名
 - ジャパン・リニューアブル・エナジー株式会社
- (2) 事業名

大塩川発電所事業性評価調査事業

(3) 事業期間

平成 30 年 7 月 2 日~平成 31 年 2 月 28 日

- (4) 調査を実施する発電設備の概要
 - a. 発電型式:水路式(流れ込み式)
 - b. 使用水量:2. 10 m³/s
 - c. 有効落差: 51.90 m³/s
 - d. 出 力:876kW

3. 平成30年度の事業実施概要

- ①正常流量調査
 - 「動植物の保護」・「景観」・「流水清潔の保持」・「既得水利権」の4項目を調査した。
- ②基準点測量·地形測量·路線測量
- 管路埋設ルートにおける各測量を行なった。
- ③ボーリング調査・標準貫入試験
- 沈砂池設置予定地の深さ方向の地質状況、支持地盤の分布および地盤の物性値を確認した。
- ④基本設計

各調査に基づき発電計画における最適規模選定を経済性評価により行った。





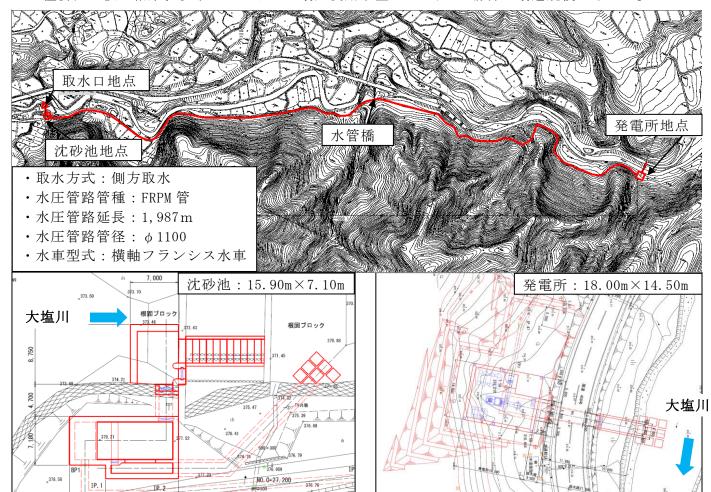




4. 事業の成果等

- ①正常流量調査
 - 減水区間における既得水利権を含む必要流量を「動植物の保護」・「景観」の2項目にて算出した。
- ②基準点測量・地形測量・路線測量
- 各測量から、管路埋設ルート検討に必要な標高などの地形的情報を取得した。
- ③ボーリング調査・標準貫入試験
 - 沈砂池設置予定地の地質は礫混じり粘土質砂であり平均 N 値が 50 あることを確認した。
- ④基本設計

経済性比較の結果、以下のルートにて最大使用水量 2.10m³/s の場合が最適規模となった。



5. 事業スケジュール

項目	平成30年						平成31年	
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
準備作業		_						
現地調査 (測量、Br、河川調査)		測量、Br		河川調査:	河回目河川		荃:2回目	
基本事項の検討		_		•				
主要構造物の基本設計								
水車・発電機の選定					-			
計画諸元の算出								
施工計画の検討						•		
工事費の積算							•	
経済性評価						•		
設計図書の作成								
報告書作成								
総合検討								